

# 美方高校新聞



発行所  
福井県立美方高等学校  
新 部  
編集責任者  
新 部  
新聞 部

## 地域との連携で実現 美高生企画 梨フェス



九月十七日に十村駅で美方高校生が企画した「梨フェス」が開催され、会場はたくさんのお客さんで賑わった。この企画は、昨年度の探究発表会で「梨フェス」を提案した現三年生の企画を、二年生十七名が受け継ぐ形で実現した。

当日は晴天、開始時刻の前から大勢のお客さんが十村駅に集まった。池田心優さんと田辺葉乃さんが開会を宣言すると、若狭町の渡辺英朗町長と美方高校の北村徹校長に

よる梨の皮むき大会のデモンストレーションでイベントがスタートした。吹奏楽部が「銀河鉄道999」「シャイニング・ロード」「風になりたい」「カイト」「アイデア」と様々な曲を演奏すると会場は更に盛り上がった。部長の本莊妃彩さんは「演奏で場が盛り上がり、アンコールもして頂き、やりがいを感じた」と振り返った。

大勢の方の協力で大成功



駅舎内では二十世紀や豊水一〇〇袋(四〜五個入り)、生徒が手作りした梨ジャム約五〇個の販売も行われた。どちらも大人気で販売開始してすぐに売り切れた。今回の梨フェス

### 最長記録目指して 梨の皮むき大会

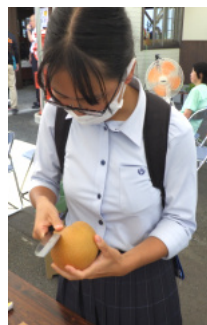


白熱した対決

九〇秒でどれだけ長くむけるかを競う。デモンストレーションで対決し

た渡辺町長と北村校長先生は、スタートから慣れた手つきで包丁を進めていき、渡辺町長が一二〇cmという記録で勝利した。渡辺町長は「小学生の頃を思い出していたので上手くできた」と振り返った。その後、大会参加の受付が始まるとすぐに長蛇の列ができ、約六〇人が挑戦した。子ども頃にも梨むき大会に参加したという女性が一九三cmで優勝し、上位六名には梨や梨ジャムが贈られた。使用した梨は

規格外品で本来なら廃棄されるものだが、今回有効に活用された。記者三人も腕試しをしてみた。記録はMが一〇cm、Hが五〇cm、Kが九〇cmと優勝者の記録とは程遠かった。むいた梨を丸かじりしてみると、ジュシーで甘みがあり味は絶品だった。



記者も挑戦

は若狭町をはじめとして「JA福井県岩屋梨生産部会」や「みそみ地域づくり協議会」などの地元団体の協力のもと開催された。これまで高校生に助言をしてきた渡辺町長は「地域の岩屋梨をアピールしてくれて嬉しい。十村駅を会場にして地元の人を呼び込んだのも良かった」と笑顔で話した。「これからも協力していくのでアイデアを沢山出してほしい。そして地域のことをもっと



地元の方の拍手とともに演奏

とも協力し、小浜線を利用して訪れた人には美術部が考案した梨をモチーフにしたキャラクター「ナンシー」のステッカーがプレゼントされた。実行委員長の水永薫音さんは梨フェスを振り返り「地域の方々や先生の協力もあり、大成功だった。幅広い年代の方が来てくれて嬉しかった。今後とも後輩に受け継いでもらいたい」と語った。これからも地域と連携する美高生の探究活動に注目したい。